

平成28年度 第1回南部町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 平成28年7月12日（金） 午前10時00分 開会
午前12時00分 閉会
- 2 開催場所 南部町役場本庁舎 2階 中会議室
- 3 出席者
・町長 佐野 和広 ・教育長 渡辺 拓雄 ・教育長職務代理者 芦澤 和彦
・教育委員 入月 一巳 ・教育委員 四條 勉 ・教育委員 望月 恵美
- 4 事務局等の出席者
町長部局 総務課長 望月 哲也
教育委員会事務局
学校教育課長 近藤 勝 学校教育課主幹 市川 隆
- 5 協議事項
(1) 教育懇談会開催について
(2) 教育大綱に関わって
(3) 来年度教育予算関連について
(4) その他
- 6 議事経過の概要
次のとおり

1 開会 芦澤教育長職務代理者

(要旨) 少子高齢化にともない、町の施策や教育のありようが変化する中で昨年、学校・家庭・地域・行政が、これからの南部町を支える子供たちを支援する指針となるべき教育大綱が出来上がりました。基本理念である「広い視野をもち ふるさと南部を支える人づくり」を具体化する年になりましたので、私たちは南部町の義務教育が9ヶ年、さらにその先を見据えた話し合いになればよいと思います。

2 町長あいさつ

(要旨) 本格的な夏になりました。皆さん体調を崩さないように日々精進していることと思います。さて、今年度は大きなテーマがあります。一つは学校統廃合に伴う教育懇談会です。これは住民の意見を聞きながら早急には結論を出しませんが、年によって考え方は変わりますので、それを見極めて最終的には結論を出していきたいと思います。小中学校の児童生徒に対してどんな教育ができるのか、しっかりと意見統一できればと思います。今回は予算に関する議題があります。予算の範囲の中で出来るだけで教育関係には力を入れていきたいと思っています。その中でアルカディア体育館の吊り天井の改修は、かなりの予算が必要になります。町の予算だけでは大変なので少しでも国などの援助をお願いしたいと思っています。皆さんが意見を出していただいて立派な会議にしていきたいと思っています。

3 教育長あいさつ

(要旨) 新教育委員会制度が発足して2年目に入り、同様に総合教育会議も2年目を迎えました。昨年の総合教育会議では、南部町の教育大綱の策定に多くの時間を費やし、大変多くの貴重なご意見・ご指摘をいただき、昨年12月に「広い視野をもちふるさと南部を支える人づくり」を基本理念とした南部町教育大綱が策定されたところです。現在教育大綱で謳う教育施策の実現に向けて教育委員会のそれぞれの担当部署で取り組みを開始しています。この教育大綱策定にみられるような町長さん・教育委員さんが同じテーブルについて教育の今、そしてこれからを論じる機会はいままでなかったことを考えると、改めて教育会議の果たす役割の大切さが理解できます。教育行政の地平は限りない広がりを持っています、長い見通しを持ち、足元の課題を一つ一つ解決しながら前に進むことが求められているのではないかと思います。今年度2年目を迎えた総合教育会議がさらに充実し、南部町の教育行政がさらに進展することを願っています。

4 前年度の協議について

事務局が前年度3回の協議事項について説明。

5 議事

(1) 教育懇談会について

(教育長) 小学校適正配置に関する「統合することが望ましい」の背景にあるものについて説明。

(事務局) 日程の説明とPTA懇談会の進め方について説明。

(教育長) キーワードは当事者意識という点です。参加者には、一人一人が自分の子どものこと、地域の子どものことを考えながら、アイデアを出してもらいたい。予想される課題についてはいくつも出されると思うので、それを克服していくための当事者としてのアイデアを出してもらいたい。参加者にはこの具申書に示されたものに主体性を持って考えてもらうという狙いがあります。教育委員会が地域へ出ていく際に誠実な対応ができるようなご意見をいただきたい。

(町長) この手法は図上訓練に似ている。良いと思うが、かなり時間が必要になるので、事前に資料や問題を提起し、個々にまとめてきてもらえば効率よくできると思う。

(教育長) 時間はかなりかかるので学校には、夜ではなく昼間の設定をお願いしている。

(事務局) 前段の1時間を具申書の説明として考えています。その説明の中で理解を深めてもらいたいと考えています。

(町長) 予定表を見ると8月21日は、午前万沢小、午後睦合小と非常にタイトな時間設定になっている。

(事務局) PTA側に実施日の希望を求めたところ、PTAの都合でこのような日程になりました。

会議は3時間程度を予定していますが、皆さん一人一人に発言してもらい、熱心に話し合いをしていただきたいと思います。実際には分刻みで作業をしていただくため間延

びすることはないと思います。一人一人に作業をしていただくため、手持ちぶさたにもならないと思います。最初に「結論を導き出す会議ではなく、皆さんから幅広く御意見をいただくものです。」と説明し当初の目的を確認しながら進めていきます。

(町 長) 今年度だけではありません。来年度もやりますから、一挙にやろうとしないで、重要なテーマから進めたらどうですか。

(事務局) 心配はいくつもありまして、この後の地域の方にご参加していただく会議で非常に大きな課題として浮上してくるであろうことが予想されます。小学校の統合にとどまらず、その地域をどのようにしていくか町の姿勢を問われた場合には、学校教育の守備範囲を超えて議論が高まる可能性があります。その時には町長にその模様を伝えたいと思います。

(教育長) 当日は長丁場になると思いますが、基本的には当事者意識を持っていただくことと、その日の話し合いが結論を出す話し合いではないことを理解していただきながら、主体的に自分たちの地域の教育をどう考えていけばよいのか、その辺の気持ちを作っていってもらうことが重要になります。町長さんのご指摘のように、前もってテーマを絞り込んで宿題のような形でやったらどうかと思います。

(入月委員) この会をより効果的に進めたい。1時間の説明で理解するのは困難だと思うので、事前に学校を通して資料配布をしてはいかがでしょうか。

(教育長) 「事前に資料配布をした方が良いのでは」という意見をいただきましたので、事務局は前文を付けて事前配布するよう手配して下さい。

(四條委員) 約束ごとで、自説を押し付けないとはありますが、押し付けなのかどうかは司会者が判断するのですか。

(事務局) 他の人が意見を述べた時にそれを否定するようなことはしないということです。

(四條委員) 重要度の高いものから順に評点を付けるとあるが、同点になった時はどうしますか。

(事務局) どちらかを選択してもらいます。一番重要なものをグループ内で一つ決めてもらいます。

(教育長) 誰もが気遣いなく自分の考えが素直に出せる流れを作っていきたいと思います。

(芦澤委員) 事前に資料を配布するにしても、最初の説明はより丁寧にして、来場者が安心して参加できるように配慮をしてください。勇んできて結論をうんぬんという人もいられるでしょうから、今日は結論を導く会議ではないとして、最初の雰囲気づくりをお願いしたいと思います。「望ましい」についても説明をしていただきたい。

(教育長) 説明は丁寧で、安心の気持ちを作るような工夫が必要です。このような会議に慣れていないため、班でまとまらなかったときのフォローはありますか。

(事務局) 意見集約をする作業は一切ありません。進行役は、「次はあなた、次はあなた」と言って発言の順番を振るだけです。まとめる作業もありません。個人個人が考えたものを出し合って、同じ意見をグループ分けして、課題の集約をします。その中で個々が何が一番重要な課題か採点します。その点数を集計し一番重要な課題を決めますので特に難しい作業はありません。

(教育長) この会議が4地区であるわけですが、1回目の地区で悪かった点は2回目か

らは修正し、より深い当事者意識を持ってもらうための話し合いにしていきたいと思
います。これが第1段階で、第2段階は各地区を対象とした懇談会をどのように設定して
いくかは、また機会をみてご相談したいと思います。

(2) 教育大綱に関わって

(教育長) 昨年、教育大綱の策定をこの総合教育会議の中で非常に詳しく検討していただ
きました。それをまとめたものが冊子になりましたが、それをダイジェスト化したもの
が別紙です。基本理念があり、その下に南部町の教育の目標が3つのジャンルに分かれ
て示してあります。それぞれの目標があり、またそれぞれの基本方針・取組みがありま
す。

今日、皆さんに議論していただきたいのは、さらに強化したい箇所、又は、現状とそぐ
わないため変更する箇所などです。これは教育大綱の策定にあたって「子供や学校、家
庭・地域の状況の調査分析を常に心がけ、また今後の国・県の教育施策の動向も見据え
ながら、必要に応じ教育大綱の内容を修正します。」ということが確認されていますの
で、ここでご意見を交換させていただく次第です。補強というご意見でも構いません。

(芦澤委員) 貧困で学校給食において栄養を補給している子供が、夏休み中給食がないこと
を心配している。そういうことをこの中に表記するには非常に微妙な扱いになってくる。

(教育長) 実は、教育委員会で話題になる件ですが、家庭の貧困ゆえに才能はあるが十分
な学力がつかないということが都会では指摘されています。現在南部町でもそれに近い
ような家庭があります。貧困ゆえになかなか才能が発揮できないという問題は、教育の
機会均等の考えからすると大きな課題かなと思います。教育大綱の中に盛り込むとすれば
「地域の教育力向上に関わる取組み」として5地域全体の中で、「支え合いながら」と
していくのが良いかと思えます。

地域の教育力向上に関わる取組みの中に、文言として入れられることがあれば、今後考
えていきたいと思えますので、問題提起として受け取らせていただきます。

(入月委員) 1年間教育委員として感じることは、学校教育にシフトがいきがちで、話の内
容も学校教育に関わったことが大部分です。生涯学習については、委員会の中でも手が
届かない現実があります。今夜、夏季生活指導の会議がありますが、参加者が少ないこ
とが予想されます。生涯学習を推進するためにも力を入れていけるよう大綱にメスを入
れていきたいと思えます。

(教育長) 教育行政は学校教育と生涯学習の両輪で進めなければいけないというご指摘だ
と思えます。委員さん方にも生涯学習の姿がご理解できるような取組みを事務局として
やっていきたいと思えます。

(四條委員) 生涯スポーツについて。担当者は、現状あるものを少しでも工夫する点がよく
みられます。しかし、体育協会とかスポーツ推進員さんの事務局を持っているため、大
半はこの事務局的な仕事でかなり大変です。将来的に南部町民をどのように生涯スポ
ーツとして育成していくか、あるいは健康維持を推進していくかの方策が文言としては出
ていますが、機能していないように思えます。具体的に目指すものがはっきりしていな
い。基本的なことは出ているが、住民の多様化した考え方がありますから、ひとつにま

とまって「南部町はこのようにスポーツを推進します」というのが見えてこない。体育協会の組織の中にある企画委員会が十分機能していないので体育協会の役員さんも事務局に指導しにくいし、今ある組織を活性化させれば新たな創造性のあるものが生み出されてくるのではないかという感じがする。体育協会の企画委員会を機能させ、新たに南部町の生涯スポーツをどのように考えるのかということから始めてもらいたい。今既存の施設を活用するというのは有効な手立てだと思います。そういった面で地域型総合型スポーツクラブがありませんから、とりあえずスポ少が動いていますが、スポ少は自分のやっているスポーツだけですので、どの子でも入っていける運用の仕方を考えていく必要があるかと思います。今のままでは数少ない子どもを取り合うスポ少の現状と、そのスポーツだけという動きになってしまいます。幅広く子供たちの体力づくりや健康維持を考えるのであればもう少し、町の組織として何か参加できるものを増やしていくことができればと思います。

(教育長) 住民参加型で住民主体的、住民自律的な流れができてくると非常に底辺の広がりになります。

(町長) 高齢者はグラウンドゴルフ、マレットゴルフなど活発に実施しています。福祉保健課の地域包括支援センターの利用率が上がった。これはチャレンジデーや南部健康会議を立ち上げ、健康に対する意識が盛り上がり、それが徐々に浸透しているからだと思います。実は国保会計にしても今年度は補てんがいない見通しです。その効果が現れ、医療費が下がり、非常に良い傾向になっています。文面にはありませんが、生涯学習・生涯スポーツは、やっていることが多いと思います。生涯学習は、いきいき大学で南部の歴史から始まって立派なことをやっています。ただ参加者が固定化しているので底辺を広げたいと思っています。

(教育長) 一例として生涯学習課では、峡南の合唱のつどいを実施しています。町内には3つの合唱団があり、最終的にはこうした会の自主運営をしてもらいたいとの考えを持っています。本当の文化活動を広げたり、活動の良さを分かってもらうためには、行政が前で引っ張るのではなく、地域の愛好の師が集まって、それを中心にして活動の輪を広げる、そして広く峡南へ呼びかける、それが目指す一つの活動の在り方です。行政としては種を蒔き、地域で育ててもらいたいという願いがあります。

(芦澤委員) これがすべてではないので、生涯学習と生涯スポーツで分けて項目を増やしてはどうでしょうか。

(教育長) この教育大綱の背景にあるのは、いくつか基になる資料があるのですが、その中の一つに、南部町第2次総合計画があり、そこに示されてている大きいジャンルがこの二つです。もう少し見直す中で、さらに項目として加えられるものがあれば整備するようにとのご指摘ですので、先ほどの貧困問題と併せて文言を次回の検討材料としたいと思います。

(町長) これからの町づくりの中で、「市民の力」つまり皆さんがこうするんだというものが盛り上がれば、本当にいい町になります。我々とすれば大きな指針だけ与えて、教育大綱の構想はこれでいいんです。別紙で具体例を示したらどうでしょうか。それを見直していけばよいと思う。

(3) 来年度予算について

(事務局) ICT導入について説明。

(町長) 図書館ネットワークは、多額のお金をかけたが活用されていない。

学力試験の結果が良くない。良い物を提供すればよいというものではなく、原点に戻った形の教育をしてもらいたい。必要である物は仕方ないが、学校の原点を忘れないでほしい。

(教育長) 現在学校で使用しているパソコンのOSのサポートの期限が切れるため、買い替えの時期が来ています。少し前なら同様のパソコンの買い替えになるところだが、現在は、パソコンというよりは、タブレット型での授業を改善していこうという流れが強くなりつつある。それならもう少し研究をして、どのような機種を導入していくのか知識を持つことが大事ではないかということで、学校現場の先生方が集まって研究会を立ち上げたところです。事務局としては、どのような物が主流になりつつあるか研修してきた結果を今報告してもらいました。いずれにしても、買い替えの時期が来ているということ。これを使って最終的には子どもたちの学力が向上すること、また子供たちが主体となって自分の学習を作っていくことが大きい狙いですが、そこが達成されないことでは意味がないということです。その点で客観的なデータとして今、県の学力調査については、小学校と中学校を比較してみると、中学校が少し良くないという課題はありますし、一方で買い替えなければならないという切迫した問題もあります。その辺で忌たんのないご意見をいただきたいと思います。

(四條委員) 小学校時代にある程度成績がとれた子どもが、中学校で伸びないというのは、南部中学校は大変部活動に熱心なため、学習をする3年間の間に家庭学習がしっかりできているのか、一日1時間しかやっていない子どもと、3時間やっている子どもでは、3年間積み重ねれば差が出てきます。基本的なことができていない状況であるのなら、それをどのように改善していくのか一つのカギになります。そう言った状況の中でタブレットが有効かという、学校でタブレットを使い、家庭でもタブレットを使うというわけにはいきませんから、学校で使っても上がらないと思います。ただ、操作等を学ぶためには、数台あっても良いと思います。南部中学校の現状では効果はないと思います。パソコンを導入する時には、一部の知識ある教員はやりましたが、全員がやるかというあまり見られませんでした。今の実態ではおそらくこれを使っての授業を作るための準備を含めて全ての先生が活用するとは思いません。そう言った先生方の活用するという意識がどの程度なのか？買ってしまってからでは遅いと思います。大型テレビの活用を検証し、実態が伴っていない状況ならば、タブレットを用意しても進みません。実験的にタブレットを使用した授業を研究校として1校を指定して導入するというのは考えられるが、全ての学校に導入するのは時期尚早のように思います。基本的に学力向上のためならば見直すところがまだあると思います。しかし、今の流れからすると効果が上がることは良くわかりますので、実験校として教育課程に組み入れるものだけを作ってもらって研究をして成果を見る指定校方式ではどうでしょうか。そうすれば金額的には一気に伸びることはないと思います。

(教育長) こんな使い方ができるということについて、8月9日・10日には業者によるデモ機研修会があります。今一つの流れとして、アクテブラーニングがよく言われますが、このアクテブラーニングには二つの側面があり、一つは探求型の学習をしましょうということと、あと一つは共同的な学習でグループになってやりましょうという二つの側面があり、それを可能としていく一つのツールとしてタブレット方がいいですよということだと思います。新しい授業スタイルを提唱している中なので、これを機に普通のパソコンを買い替えるのではなく、小学校の例では、稼働率を考えタブレット型を購入していったらどうでしょうか。中学校の場合には、授業スタイルの変化ということだと思います。

(町長) 時代の流れということは当然理解しています。この業界はもの凄い競争があります。業者はいくらでも競争します。かなりの金額になるので、導入する場合は業者の選択を慎重にして、四條先生が言ったように南部中学校をモデル校としてやってみるということも考えられます。

(事務局) このICT環境整備研究会では、先生方から要望がなければ予算として提出できません。先生方の熱意を事務方がなり代わって訴えるという形ですから、今後の研究会がどのように動いていくかが問題になっていくかもしれません。

(教育長) 学力の問題がありましたので一言申し添えておきます。教育委員会として、昨日緊急に校長先生に集まってもらいました。今は県の結果しか出ていませんが、これから国の結果も出ますので、夏休み明けには授業に反映し、学力の向上につなげられるように全力で頑張ってもらいたいと話をさせてもらいました。

(総務課長) 現在各学校のパソコン関係で、どのくらいの予算を支払っていますか。また、ICT事業は多額の導入経費がかかりますが、それ以外に毎年の保守料は発生しますか。なお、他の自治体のタブレットの導入状況を教えていただきたい。

(事務局) 学校教育ITに関連する経費調べがありました。27年度の決算で報告をしたところです。保守料・電話料などはかかっています。1校につき40万円から50万円のレベルです。県下の経費を調べていますが、学校施設課への問合せでは、過去3年間のデータではタブレット端末の項目が新設され、かなりの自治体で数字が入ってきている現状です。また、保守料は別途かかります。

(教育長) いずれにしても多額の費用が掛かります。教育には費用対効果は馴染まないという考えですが、やはり投資するからには教育現場での有効な活用が求められます。研究会が立ち上がりましたので、どうすれば有効に活用できるか、さらに予算に加えなければならないものは何かなど検討しながら予算に向けた取り組みをしていきたいと思えます。

別件になりますがアルカディア体育館の吊り天井は、近い将来の中で対応しなければならないと思えます。

(町長) 町民の生命財産を守るためにアルカディアは、大きな避難所なので早急に対応したい。お金が掛かる、掛からないという問題ではなく、また検討してみます。

(4) その他

(教育長) 最後になりますが、感想などを一言ずつお願いします。

(芦澤委員) 教員と子どもが忙しすぎます。中学校の部活動の健全なあり方も含めて、ICTを導入しても教員が余裕をもって扱えるようにしていくことが大事だと思います。

(望月委員) 特別支援の関係で、町長さんには学校現場へ足を運んでいただいております。また、栄小支援員の時間の増加について対応ありがとうございました。一つの方向に向かって、その子供のためと、その子の支援をすることでその周りも助かる部分があります。1学期中に方向性が見えたことはありがたいことで、先生方も感謝していると思います。今日は大変有意義な話し合いができたと思います。ありがとうございました。

(四條委員) 学校訪問で先生方の授業を見るとときに、県の義務教育課で推奨している本日のねらい・目当てなどを板書する基本的な内容がもっと徹底される形がとられないと、子どもたちの学力向上の効果が見えてこないように思います。先生方の意識をいかに変えていくかということが必要になってきます。ICTのことについても、その場の感覚だけでやってみたいということではなくて、やるんだという先生方の意識が大事だと思います。私たちも学校の様子を細かくつかみたいと思いますし、先生方にも基本的な教育予算の使い方を意識してもらって、本当にやってくれるなら用意をし、購入しても使われないなら、半分は学校側の責任もあるような気がします。先生方に意識を高めてもらって、購入するとなればこういう形で使用しますと示してもらいたい。意識を高めていきたい感じがします。

(入月委員) ICTの件は、四條先生が言ったことと同じ考えです。莫大な予算もかかりますので真剣に対応を考えていかなければならないと感じています。学力の件は、ある程度先生方の意識を高める意味でも説明責任が果たせるような形を示してもらいたいと思います。昨年小学校では自分の結果をはっきりした点数では示していないが、県平均よりも上回っているとか出しているにも関わらず、南部中学校だけは出していない事実があります。南部中学校も小学校にならって、ある程度大まかな形でも出すような状況を作ると職員の意識が変わってくると思います。それが学力向上にもつながっていく好循環になっていくように感じました。

県教育委員会の管理主事さんが学校訪問最終日に教育委員会を訪問し話をしました。南部町内5校、どの学校に行っても学校と教育委員とのつながりが深く、良い環境にあると言っていました。

(町長) 教育委員さん皆さんが南部町の教育に真剣に取り組んでくれています。本当にありがたいことです。先日N授業を見学しました。私はどのような状況なのか子供たち一人一人の顔を見ていました。中には溶け込めない子供もいましたが、それぞれが皆頑張っていました。それに対して皆さんが見まわりをしながらアドバイスをしていました。これが南部町の良さだと思います。私は、このN授業を推奨していますから大いにやっていただきたい。

今年度は、教育懇談会があります。これは簡単なものではないともいます。強い気持ちを持って対処していただきたいと思います。

(教育長) 毎回の教育委員会もそうですが、一人一人の子どもの顔、今日の場合は一人一人の町民の皆さんの顔までも思い浮かべながらお話や議論をしていただいたこと大変ありがたく思います。また、この総合教育会議は、今年度あと2回予定されています。さらに南部町の教育行政が前進していくためにあらゆる角度からのご意見やご検討をお願いします。

6 閉会 望月恵美委員

(要旨) 学校の先生方は頑張っています。それを後で支えるというか、本当に困ったときに手を差し伸べてあげられるような教育委員会、又は、行政であってほしいと保護者の立場からは願っています。南部町の教育環境はそれに近いと感じています。今年は、教育大綱を具現化する年ということで大変ですが、このメンバーでよろしくをお願いします。今日はお疲れ様でした。